

# 大分市洪水ハザードマップ

## 住民説明会資料

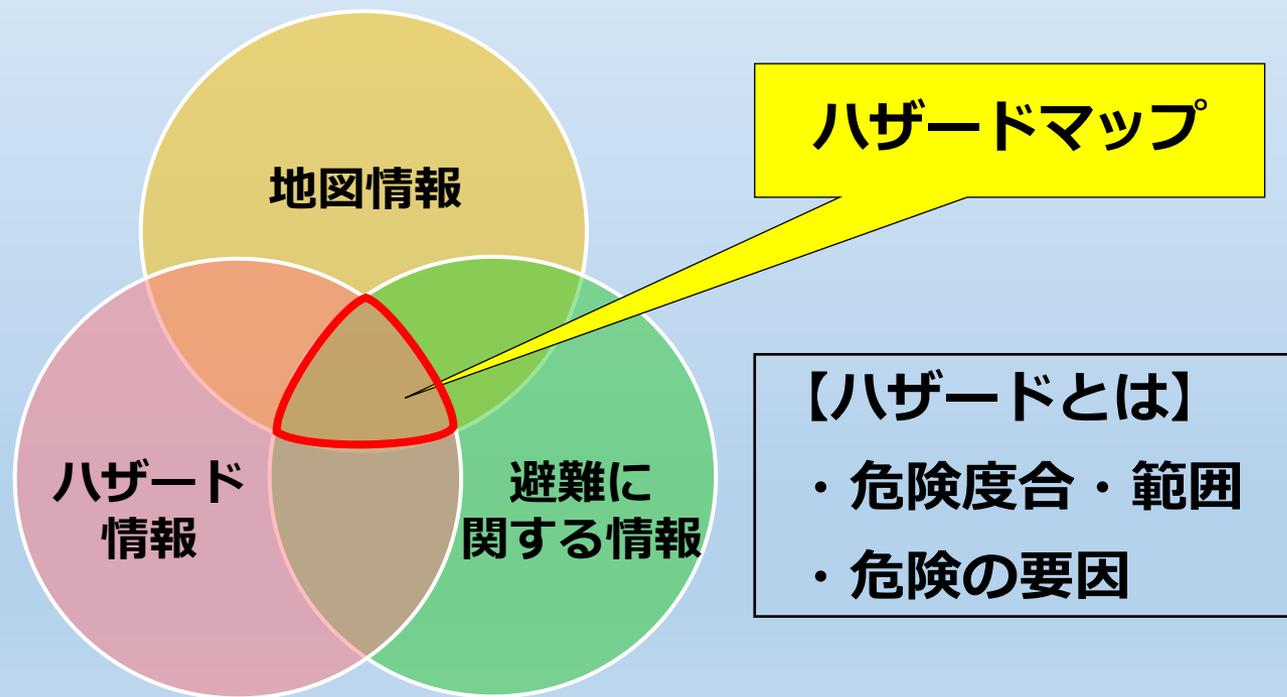
---

大分市  
河川・みなと振興課



# ハザードマップとは

- 今後発生が予測される自然災害について、その被害の及ぶ範囲、被害の程度、避難場所などを示した『**災害（被害）予測図**』のことです。
- 地震、津波、高潮、**洪水**、土砂災害、ため池、火山噴火、原子力など、災害の種類に応じた災害予測図を行政が作成しています。



# 洪水ハザードマップについて

- 洪水時に避難する場所や、注意すべき箇所などをまとめたものです。
- 災害は、いつ発生するか分かりません。いざという時に落ち着いて行動できるように、ハザードマップを使って、家族や地域で話し合みましょう。

◆ 災害時に危険となる場所はどこなのか？

◆ どんなときに避難すれば良いのか？

◆ どこに避難するのか？



# 洪水浸水想定区域の見直し

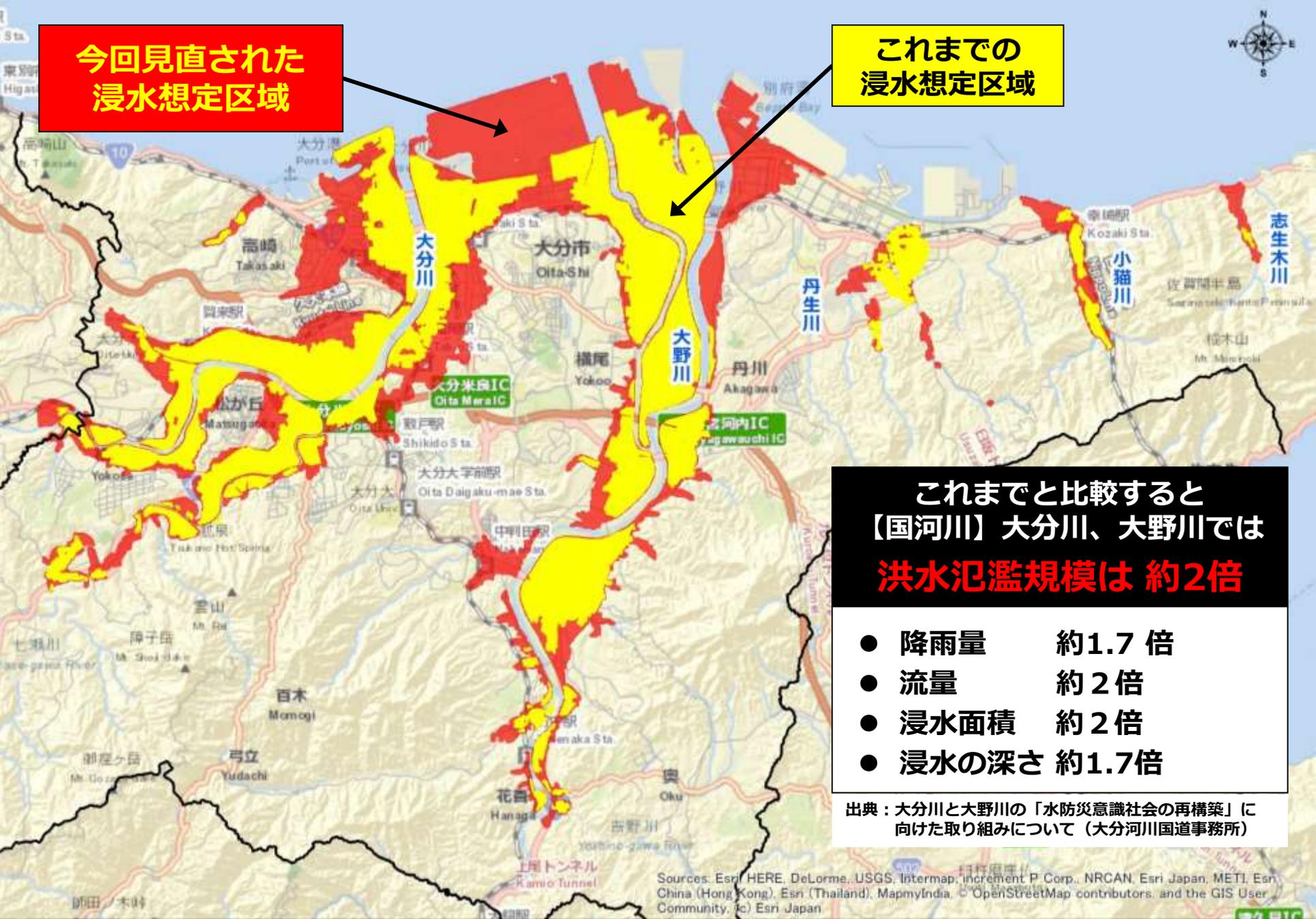
- 近年の度重なる災害を受けて、平成27年の水防法改正により、これまでの洪水浸水想定区域が見直されました。
- 今回の見直しによって、**想定しうる最大規模の洪水**により、浸水が想定される区域と深さ、家屋の倒壊をもたらすような氾濫の発生が想定される区域が、国や県から公表されました。

河川名	これまでの浸水想定区域	今回見直された浸水想定区域
<b>国河川：大分川水系</b> 大分川 七瀬川 賀来川	大分川流域の 48時間 総雨量 <u>530mm</u>	大分川流域の 48時間 総雨量 <u>911mm</u>
<b>国河川：大野川水系</b> 大野川 乙津川 判田川 立小野川	大野川流域の 48時間 総雨量 <u>485mm</u>	大野川流域の 48時間 総雨量 <u>798mm</u>



**今回見直された  
浸水想定区域**

**これまでの  
浸水想定区域**



**これまでと比較すると  
【国河川】大分川、大野川では  
洪水氾濫規模は 約2倍**

- 降雨量 約1.7倍
- 流量 約2倍
- 浸水面積 約2倍
- 浸水の深さ 約1.7倍

出典：大分川と大野川の「水防災意識社会の再構築」に向けた取り組みについて（大分河川国道事務所）

Sources: Esri, HERE, DeLorme, USGS, Intermap, increment P Corp., NRCAN, Esri Japan, METI, Esri China (Hong Kong), Esri (Thailand), MapmyIndia, © OpenStreetMap contributors, and the GIS User Community, © Esri Japan

# 洪水ハザードマップ

(令和元年7月更新)

情報面

地図面



- 自分が住んでいる地域に、どのような災害の危険があるか、また、危険な区域や場所はどこか、普段から確認しておくことが大切です。
- 洪水ハザードマップでは、「**想定される浸水区域・浸水深**」や「**家屋が倒壊するおそれがある区域**」により「**早期の立退き避難が必要な区域**」が確認できます。



## 大分市から発令される避難情報

高齢者等避難

避難指示

緊急安全確保

## 危険を感じたら、早めの避難を！

- テレビ・ラジオ・・・最新の気象情報、災害情報、避難情報
- インターネット・・・リアルタイムの雨量や水位、自治体からの緊急情報
- 大分市防災メール・・・事前登録しておけば、外出先でも災害・緊急情報などをメールで受け取ることができます。



令和3年5月20日から

警戒レベル

4

ひなんしじ  
**避難指示**で必ず避難

ひなんかんこく  
**避難勧告**は廃止です

警戒レベル	新たな避難情報等	これまでの避難情報等
5	 <p>火災発生 又は初期</p> <p>さんきゅうあんぜんかくほ <b>緊急安全確保</b>※1</p>	<p>災害発生情報 (発生を確認したときに発令)</p>
~~~~<警戒レベル4までに必ず避難！>~~~~		
4	 <p>災害の おそれ高い</p> <p>ひなんしじ <b>避難指示</b>※2</p>	<p>・避難指示(緊急) ・避難勧告</p>
3	 <p>災害の おそれあり</p> <p>こうれいしゃとうひなん <b>高齢者等避難</b>※3</p>	<p>避難準備・ 高齢者等避難開始</p>
2	 <p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>	<p>大雨・洪水・高潮注意報 (気象庁)</p>
1	 <p>早期注意情報 (気象庁)</p>	<p>早期注意情報 (気象庁)</p>

※1 市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2 避難指示は、これまでの避難勧告のタイミングで発令されることになります。

※3 警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じて普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

警戒レベル5は、  
すでに安全な避難ができず  
命が危険な状況です。  
警戒レベル5緊急安全確保の  
発令を待ってはいけません！

避難勧告は廃止されます。  
これからは、  
警戒レベル4避難指示で  
危険な場所から全員避難  
しましょう。

避難に時間のかかる  
高齢者や障害のある人は、  
警戒レベル3高齢者等避難で  
危険な場所から避難  
しましょう。

内閣府(防災担当)・消防庁



## 緊急避難場所

災害時危険を回避するために  
一時的に避難する場所



## 避難所

避難生活を送るための施設

## 洪水は「立退き避難」が基本！

- 被害が発生する前に、浸水想定区域の外にある緊急避難場所などの安全な場所に避難する。



## 逃げ遅れた場合には「屋内安全確保」を！

※自宅の周辺がすでに増水していたり、  
夜間で視界が悪く、屋外に出るとさらに危険な場合。

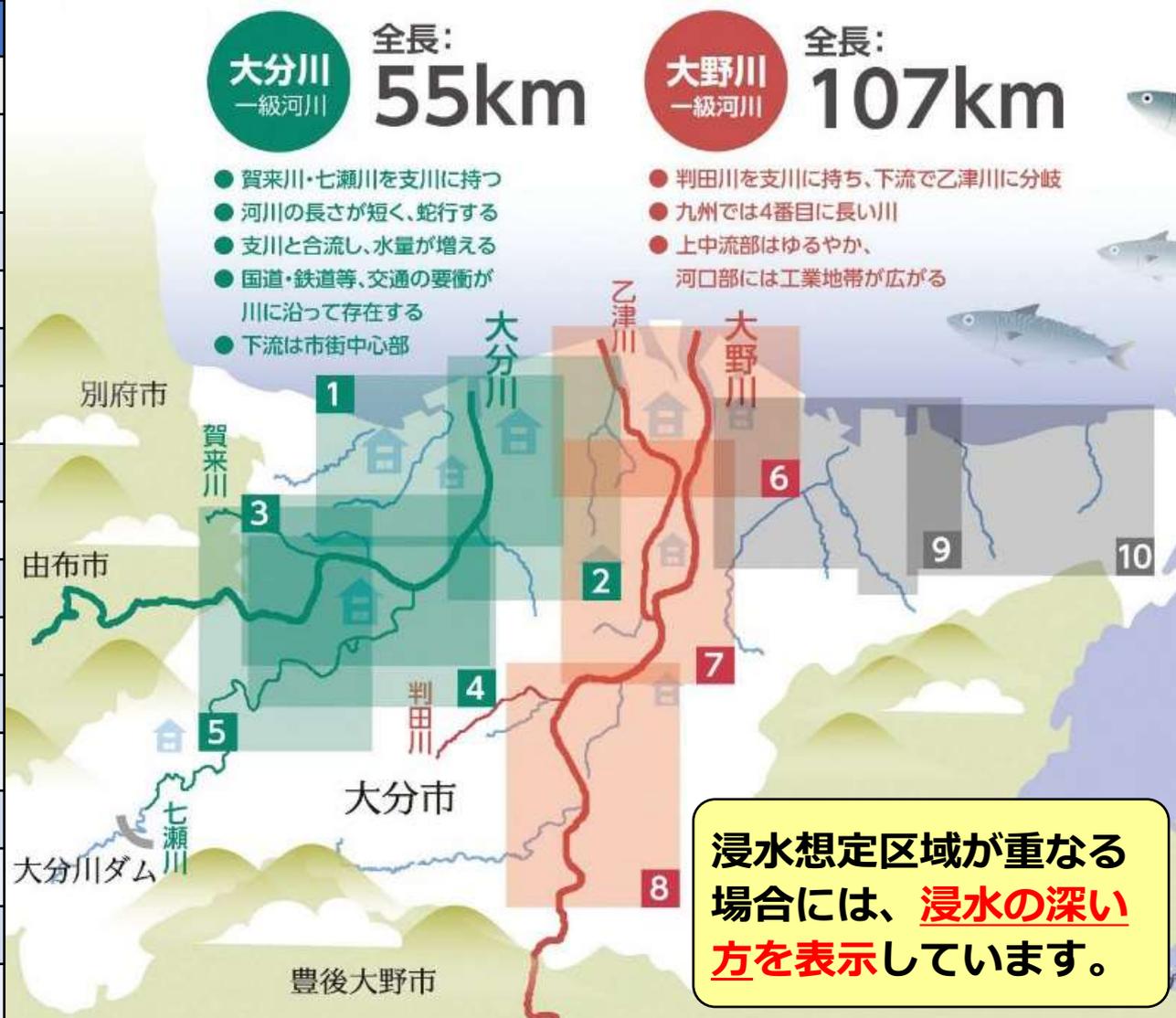
- 近くの丈夫な建物（鉄筋コンクリート造）
- 自宅の2階以上（浸水深3m未満の場合）





# 浸水想定区域（想定最大規模） 1/2

河川名	
国 河 川	大分川・七瀬川・賀来川
	大野川・乙津川 判田川・立小野川
県 河 川	七瀬川
	祓川
	住吉川
	米良川
	尼ヶ瀬川
	原川
	今堤川
	大野川
	北鼻川
	河原内川
	戸次古川
	丹生川・尾田川・屋山川
	小猫川
	志生木川



# 浸水想定区域（想定最大規模） 2/2

## 浸水の深さ / 状況

**家屋倒壊等はん濫想定区域  
(河岸侵食・はん濫流)**

堤防が削られる(河岸侵食)または、水深・流速(はん濫流)により建物の倒壊が想定される区域

**10m～**

2階の屋根以上が浸水

**5m～10m**

2階の屋根以上が浸水

**3m～5m**

2階の屋根まで浸水

**0.5m～3m**

2階の床下まで浸水

**～0.5m** 1階の床下まで浸水



## 避難行動

### 早期に避難が必要な区域

- はん濫がすでに始まっている場合

近隣の安全な場所へ

- 外出すら危険な場合

屋内安全確保

### 原則として **立退き避難**

浸水時に想定される状況を踏まえ、自らの判断により**屋内安全確保**

# 過去に浸水した区域



過去に浸水した区域

平成16年～平成17年、  
平成29年台風18号

# 避難時の危険箇所

- 洪水と同時に注意が必要な災害として、**土砂災害**の危険箇所を記載しています。
- **アンダーパス・地下道**は、交差する鉄道や道路の下を通過するため、周辺の地面よりも低くなっており、道路冠水に注意が必要です。



# 記載施設



## 緊急避難場所

浸水想定区域外にある避難場所



## 緊急避難場所

浸水想定区域内にある避難場所  
緊急時は校舎や建物内の高い場所が  
利用できます。



警察・交番・駐在所



消防



消防団詰所



アンダーパス・地下道



水防倉庫



水位計



ライブカメラ



ポンプ場



水門



ランドマーク



道路冠水危険箇所



JR



市境界

要配慮者利用施設は、大分市ホームページを参照してください。

# 【最後に】ハザードマップの活用について

- 災害から命を守るためには、普段から自分の住んでいる地域に  
「どのような災害が想定されているか」  
「どのような避難行動をとれば良いか」  
「どのタイミングで避難行動をとることが望ましいか」  
を正しく知っておくことが重要です。

ハザードマップで、これらの情報を確認し、さらに…

- 地域の避難訓練に参加する（コミュニティの形成＝共助）
- 実際に避難場所まで歩いてみる（夜間の避難も…）
- 高齢者等の要支援者の避難（市で災害時要援護者台帳の作成を進めていますが、災害時に最も早い支援となるのは近隣地域の支え合い）
- 大雨時の情報伝達の確認（停電したとき…）

# おおいた洪水ハザードアプリのご紹介



## AR(拡張現実)で防災情報が 見えるスマートフォンアプリ 「ARハザードアプリ」サービス開始!

- 災害シミュレーション結果をわかりやすく表示
  - 最寄りの避難場所や、現在地からの避難方向・距離などの避難情報を表示
- くわしくは、「ARハザードアプリ」ウェブサイトをご覧ください。



その場で  
表示できる!  
便利ツール



防災情報をリアルに見える化!

## スマートフォン用 防災ツール



## 洪水への心がまえ

洪水ハザードマップとは、大雨で河川が氾濫したときに、浸水が想定される区域と水の深さを表した被害予測地図です。

- ・自宅が浸水想定区域内に入っているか?
- ・どの方向へ逃げれば安全か?
- ・避難途中に危ない場所はないか?

…などの災害時の不安点をマップで確認し、事前に備え、対策することが大切です。

浸水が想定される区域に入っていない場所でも、水害が発生しないとは限りません。洪水が発生した場合、自宅や職場、学校など、自分の居場所から1番近い避難先が浸水によって使えなかったり、道路の冠水や土砂災害などの状況により、避難できなくなることも考えられます。



おおいた  
洪水ハザード  
アプリ

【無料】  
いますぐ  
ダウンロードしよう!

各アプリストアで検索、またはQRコードでアクセスしてダウンロードしてください

おおいた洪水ハザードアプリ 検索



for iPhone



for Android



ご利用にあたっては、以下の点にご注意ください

- ・「歩きスマホ」をしない
- ・自転車や自動車を運転しながら操作しない
- ・危険な場所や立入禁止区域には立ち入らない



防災情報を  
2画面で  
同時表示

避難先の名前を  
押すと、その  
詳しい情報

ここは  
安全?

防災情報を持ち歩き  
スマートフォン用防災ツール

大分市で想定される浸水の深さや避難先などの  
防災情報をスマートフォンで確認できるツールです。  
今いる場所に合わせた防災情報を表示できるので、  
リアルな災害シミュレーションを体験できます。

3画面のイメージを持つと

自宅や職場にいる場所がアプリ画面に、浸水の深さや避難先の情報を  
確認し、災害時にスムーズに避難

### 機能 1 現在地の真写映像で リアルな災害シミュレーション

想定される  
浸水の深さを  
写真映像で確認!

人の身長と  
水の深さの  
比較イメージ

浸水深0.5mだと  
大人の膝くらいの高さ!  
ここを前に早く  
避難しましょう!

アプリのスマートフォン内蔵カメラで撮影すると、現在地  
で洪水が起きたかのような災害シミュレーションが表示  
されます。人間のシルエットを見て、浸水時どのくらいの高さ  
まで水がくるのか確認し、目視から確認しましょう。

### 機能 2

### 現在地・広範囲の浸水想定と 最寄りの避難先情報を表示

浸水した際の  
水の深さを  
色で表しています

指の操作で  
マップを  
拡大縮小

現在地から  
一番近い避難先へ  
案内してくれるよ!

現在地が浸水した時に想定される浸水の深さや最寄りの  
避難先情報\*を表示し、避難をサポートします。マップ  
の拡大縮小で広範囲の情報を確認することができます。  
\*避難先への方向は道路網、距離など、実際の地図と